

令和5年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第77回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

令和5年6月11日(日) Bブロック 決勝 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第3試合

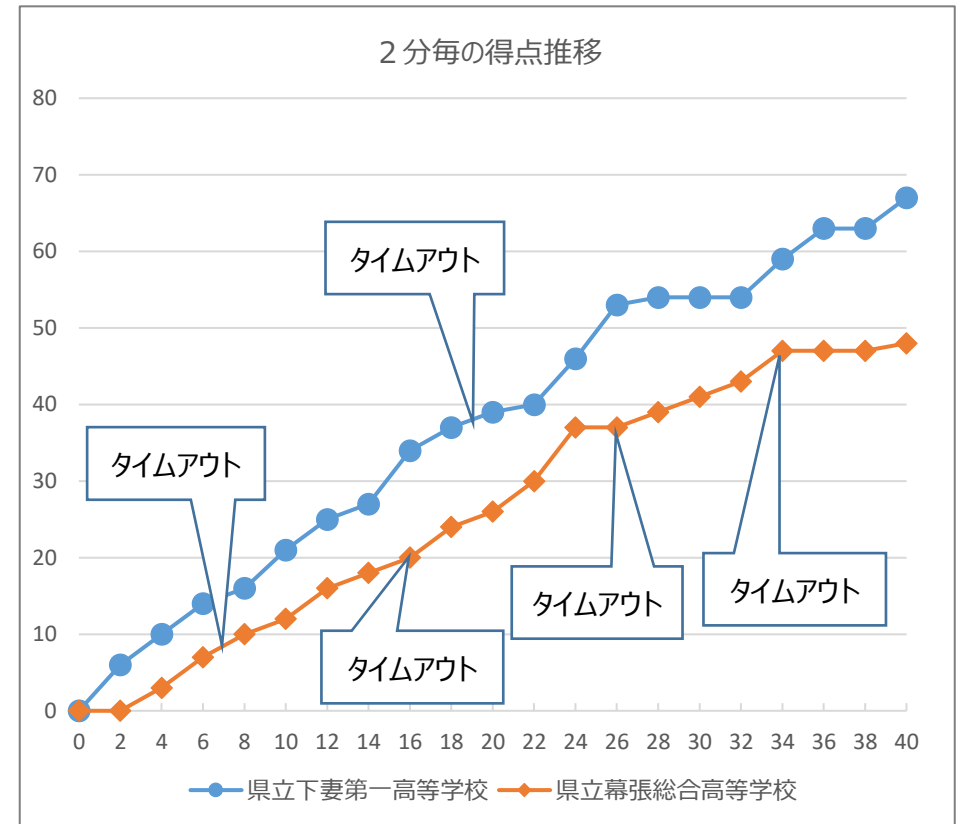
チームA		21	1st	12			チームB
県立下妻第一高等学校 (茨城県)	67	18	2nd	14	48	県立幕張総合高等学校 (千葉県)	
		15	3rd	15			
		13	4th	7			
		OT					

Aチーム： 県立下妻第一高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	倉持 栞	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
2		5	岩田 なごみ											
3	*	6	清水 瑠莉	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
4		7	濱野 こころ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5		8	三村 夏実	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	*	9	関塚 もえ	11	3	11	1	3	0	0	2	1	2	3
7	*	10	清水 瑠奈	15	0	0	7	17	1	2	1	8	5	13
8	*	11	尾花 優心	15	3	8	3	7	0	0	1	0	8	8
9		12	鬼山 奈々											
10	*	13	滝本 絵里菜	14	0	1	7	9	0	1	1	1	6	7
11		14	和知 陽香	6	2	10	0	0	0	0	2	0	1	1
12		15	菅原 遥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13		18	渡辺 ののか	6	0	0	3	8	0	0	4	4	5	9
14		19	木村 妃花	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
15		21	藏内 日来											
HC/TEAM			木村 幸司									1	2	3
合計				67	8	31	21	45	1	3	13	15	29	44

Bチーム： 県立幕張総合高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	堀越 ゆらら	15	1	15	5	15	2	3	1	2	6	8
2	*	5	山下 陽	10	0	1	4	11	2	2	5	3	5	8
3	*	6	落合 渚奈	12	0	1	4	15	4	4	1	2	3	5
4		7	キャプテン天音ビートル											
5		8	森 明日香	0	0	4	0	1	0	0	2	1	2	3
6		9	勝股 芙月											
7		10	岩満 遥	4	0	0	1	2	2	2	0	1	2	3
8		11	石井 恵加											
9		12	小糸 晴美											
10		13	高橋 滯											
11		14	鈴木 芽											
12	*	15	成澤 果歩	2	0	0	1	3	0	0	0	0	4	4
13	*	16	玄角 葉奈	3	1	5	0	1	0	0	0	2	2	4
14		17	久保山 葵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		18	串部 滯											
HC/TEAM			高松淳史									0	0	0
合計				46	2	26	15	48	10	11	9	11	24	35



戦評

記者：青木 大樹 (山梨県高体連)

1 Q、両者マンツーマンでスタート。先手を取ったのは下妻第一。3 Pを立て続けに決め主導権を握る。対する幕張総合は#4のバスケットカウント、#6の3 Pで喰らいつくもなかなかペースを掴めずタイムアウト。その後、カットインやブレイクでチャンスを作りだすも得点につなげることができず苦しい時間帯が続く。一方、下妻第一はディフェンスリバウンドからのブレイクや3 Pで加点し、12-21下妻第一リードで1 Qを終える。2 Q、両者体を張った激しいディフェンスでゲームが展開されていく。下妻第一は#13のブレイクやジャンプシュートで確実に加点していく。対する幕張総合は積極的にゴールヘアタックすることでフリースローを獲得。互いに点の取り合いが続き拮抗したゲームが展開される。そんな中、幕張総合のミスが立て続けに起こり、4:30幕張総合タイムアウト。その後、幕張総合はディフェンスの強度を上げ下妻第一からミスを誘発しスティールに成功。しかし、下妻第一は#13を起点に#14、#11が連続3 Pを加点。26-39で下妻第一がリードし前半を折り返す。3 Q、前半同様両者マンツーマンディフェンスでスタート。下妻第一は素早いバス回しからチャンスを生み出し#11の3 Pで先取し主導権を握る。対する幕張総合は、チェンジングディフェンスで2-2-1ゾーンプレスを仕掛けミスを誘発し成功。幕張総合#10、#5の得点で追いつけるも、下妻第一が上手く対応しカウンターで得点につなげ、4:05幕張総合たまたまタイムアウト。下妻第一は正確なバス回しから落ち着いたゲームを展開していくことで、序盤の主導権を握ったままリードを保って41-54、3 Q終了。4 Q、下妻第一はマンツーマン、幕張総合は3-2ゾーンでスタート。下妻第一は華麗なバス回しで幕張総合のゾーンディフェンスを翻弄する。一方、幕張総合は#10、#4の1対1で下妻第一のディフェンスを打開し加点につなげる。しかし、下妻第一が強度高いディフェンスを続けることで鉄壁の守りを見せ#10、#13のブレイクが成功。流れを一気に引き寄せ。幕張総合は下妻第一の正確なバス回しに対応できず、積極的にゴールヘアタックする。幕張総合は懸命に最後まで戦うも、下妻第一が連続得点で突き放し、48-67で下妻第一がBブロック優勝を掴み取った。

主審	第1副審	第2副審
竹澤 友美 (埼玉)	山田 依美里 (指名)	手塚 清孝 (山梨)